

健康寿命延伸産業の創出



SDGs 未来都市・堺の挑戦 健康寿命延伸に向けた産学公民共創の取組

SDGs 未来都市・堺について

堺市はこれまでの取組が評価され、持続的に発展を続ける都市として、2018年6月に国が推進するSDGs未来都市に選定されました。今後も堺市はSDGs未来都市として誰一人取り残さない、すべての方が幸せでいつまでも人生を楽しめるまちの実現をめざし、施策を推進していきます。

とりわけ、まちびらきから50年が経過し、高齢化が進展する泉北ニュータウンを含む地域を活性化させ、高齢者がいつまでも人生を楽しみ、若い世代がこれからの人生を過ごしたいと感じる、付加価値の高いまちの実現に取り組むことで、その効果が全市域に広がり、更にニュータウン再生の全国的なモデルになることをめざします。

堺市が特に注力するSDGsの取組例

次世代モビリティの導入
などによる移動支援



VPP※による再生可能エネルギー制御を通じたエネルギー地産地消システムの構築



健康寿命延伸産業の創出

※バーチャルパワープラント(仮想発電所)の略。再生可能エネルギーや蓄電池などの設備と電力需要をネットワークシステムにてまとめて制御する取組。

泉北ニュータウン地域のポテンシャルと将来像

泉北ニュータウンは西日本最大級のニュータウンであり、一人当たりの緑地面積が全国的にも大きく、高齢の方から若年・子育て世代まで暮らしやすい緑豊かな住環境を有した地域です。まちびらきから50年を経て、現在は高齢化が進展し人口減少傾向にありますが、一方で2023年には近畿大学医学部及び近畿大病院の開設が予定されることから、大学と連携した健康寿命の延伸に資する研究等の進展や、大きな経済波及効果などが期待されており、健康寿命延伸産業等に関する企業などが魅力を感じるポテンシャルを有しています。*

また、今後、公的賃貸住宅の建替による余剰地の活用、駅前再整備、公園・緑道の改修等のまちづくりが進んでいきます。これらに加え、未来投資戦略など国の方向性や、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博の開催などを契機として捉え、健康寿命の延伸に関する産業の創出による雇用創出や企業投資を進めることが、将来にわたり、多世代の方々が、健康で快適に住み続けることのできる持続可能なまちの実現につながるものと考えています。

※近畿大学医学部開設に関する泉北ニュータウンの経済波及効果は約114億円、定住人口は1,108人増加見込み
(出典：「泉ヶ丘駅前地域における教育・医療関連施設の立地を契機とした経済波及効果」堺都市政策研究所)

泉北ニュータウンの人口(全体のうち堺市分)

人口	121,708人
世帯数	56,484世帯
戸数	約58,700戸 (集合住宅 約42,000戸、戸建住宅 約16,700戸)

(人口・世帯数は2018年12月現在の住基人口より。
戸数は2017年泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画より)



健康寿命の延伸とコンソーシアムについて

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間です。平均寿命と健康寿命との差が日常生活に制限のある不健康な期間を意味するため、この平均寿命と健康寿命の差を短縮できれば、個人の生活の質の低下を防ぐことができると考えられます。

健康寿命の延伸に関連する産業は、健康や介護といった直接的な分野だけでなく、住まい、食事、アンチエイジング、生きがいづくりなど幅広い分野と関連する産業であり、これからの成長が期待されます。

健康寿命の延伸に向けて、がんの早期発見、早期治療や、循環器疾患及び糖尿病などの生活習慣病の発症と重症化の予防をはじめとした健康増進に関する施策を進めることに加え、健康寿命の延伸に関連する産業を創出、振興することは、健康寿命の延伸に寄与するとともに、地域の活性化にもつながると考えています。

そのため、2019年3月に、産業界、アカデミア(大学)、地域住民、行政等、様々な主体が一体となって取組を進める、「堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム」が設立されました。



開催報告

SDGs 未来都市・堺の挑戦 健康寿命延伸に向けた産学公民共創シンポジウム

2019年3月15日(金) 会場：国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)

コンソーシアムの設立にあわせ、「健康寿命の延伸」や「地域の活性化」などに向け、全国の先導的取組などを紹介し、今後のまちづくりについてディスカッションを行うシンポジウムを開催しました。当日は市民の方々や市内外の企業、大学・研究機関、行政機関など約280名の方々に参加いただきました。

【講演】

- 「フィリップスのヘルステックがめざす未来都市創造」堤 浩幸氏(フィリップス・ジャパン代表取締役社長)
- 「近畿大学医学部が考える泉ヶ丘移転後のビジョン」松村 到氏(近畿大学医学部学部長)
- 「生涯現役社会構築に向けたヘルスケア産業政策について」山本 宣行氏(経済産業省ヘルスケア産業課課長補佐)

【パネルディスカッション】

- 「SDGs未来都市・堺 健康長寿社会で選ばれるまち」
- モデレーター：伊木 雅之氏(近畿大学医学部・医学研究科 公衆衛生学 教授・主任)
- パネリスト：佐藤 道彦(前堺市副市長)
- 山本 宣行氏(経済産業省ヘルスケア産業課課長補佐)
- 吉岡 正泰氏(株式会社日立製作所 社会イノベーション事業推進本部 地域包括ケアプロジェクトリーダー 担当部長)
- 樋口 祥明氏(株式会社社中工務店技術研究所 副所長)



産業創出に向けた取組

堺市は、健康寿命延伸産業創出コンソーシアムを中心として以下のような取組を予定しています。

堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアムのメンバー

(2019年8月現在) 敬称略

正会員

- ・株式会社アシックス
- ・株式会社 NSD
- ・大阪ガス株式会社
- ・関西電力株式会社
- ・堺化学工業株式会社
- ・シップヘルスケアホールディングス株式会社
- ・株式会社竹中工務店
- ・西日本電信電話株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・南区自治連合協議会
- ・イオンリテール株式会社
- ・株式会社 NTT ドコモ
- ・株式会社大林組
- ・株式会社紀陽銀行
- ・堺市産業振興センター
- ・株式会社スマートバリュー
- ・凸版印刷株式会社
- ・パナソニックホームズ株式会社
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・堺市
- ・株式会社池田泉州銀行
- ・株式会社 NTT ファシリティーズ
- ・オムロンヘルスケア株式会社
- ・コニカミノルタ株式会社
- ・堺商工会議所
- ・泉北高速鉄道株式会社
- ・株式会社中村超硬
- ・阪南倉庫株式会社
- ・ロート製薬株式会社

アカデミー会員

- ・大阪府立大学
- ・関西大学人間健康学部
- ・近畿大学医学部
- ・帝塚山学院大学
- ・羽衣国際大学
- ・桃山学院教育大学

支援機関

- ・大阪府
- ・大阪府住宅供給公社
- ・大阪労災病院
- ・経済産業省近畿経済産業局
- ・近畿中央呼吸器センター
- ・堺市立総合医療センター
- ・都市再生機構

産学公民連携の推進による 健康寿命延伸産業の創出

- ・中長期的な視点を踏まえたコンソーシアムの取組に関するロードマップ作成
- ・会員との勉強会などの意見交換
- ・コンソーシアムや堺市の取組に関する情報発信
- ・会員と連携した住民の健康意識を高めるイベント等の開催

先導的ヘルスケアサービスの 創出に向けた取組

- ・ビジネスコンテストなど、ヘルスケアサービス創出に向けた支援
- ・先導的ヘルスケアサービスの展開に対する補助制度の創設

お問い合わせ先

堺市 市長公室 企画部 企画推進担当
〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号

TEL : 072-228-7480 FAX : 072-222-9694
E-mail : kisui@city.sakai.lg.jp

2019年6月発行